



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 株式会社リーガルコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7938 URL http://www.regal.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 幸次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 安田 直人 (TEL) 047-304-7084
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,810	△5.5	196	△67.2	227	△64.2	118	△68.4
28年3月期第1四半期	8,268	1.9	599	△6.2	636	△4.6	375	△26.2

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △77百万円(—%) 28年3月期第1四半期 498百万円(0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	3.76	3.72
28年3月期第1四半期	11.89	11.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	29,506	14,468	48.6
28年3月期	30,048	14,767	48.7

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 14,330百万円 28年3月期 14,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,200	1.1	700	18.3	750	8.8	450	14.7	14.26
通期	37,000	1.8	2,050	3.0	2,150	△0.1	1,400	1.6	44.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	32,500,000株	28年3月期	32,500,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	938,230株	28年3月期	938,030株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	31,561,870株	28年3月期1Q	31,565,019株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ(3)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州経済や新興国をはじめとした世界経済の減速懸念に加え、英国のEU離脱問題などにより円高・株安が進行し、企業収益の回復や個人消費の改善に足踏みが見られております。

靴業界におきましては、根強い節約志向や消費の二極化傾向が進展し、また依然として続くスニーカーなどスポーツトレンドにより、婦人靴市場やレザーカジュアルが相対的に苦戦をしており、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、製造小売業として企画・製造・販売の各部門が連携して、顧客ニーズやライフスタイルの変化に対応した商品開発や売場提案、店舗開発等を行い、新たなマーケットを創造していくことを重点課題とし、更に商品開発プロセスの刷新や取扱ブランドの改廃による在庫適正化施策にも取り組んでまいりました。

売上面では、紳士靴につきましては、国内生産を主体とする「リーガル」や「ケンフォード」のビジネスシューズが堅調に推移し、前年実績を上回りましたが、婦人靴全般およびカジュアルシューズにつきましては、対象顧客の消費に対する意識、購買行動の変化等により苦戦をし、全体では前年実績を下回りました。利益面につきましては、原材料価格の高騰や店頭販売員に係る販売管理費の増加に加え、季節商材等の滞留在庫品の処分を行ったことなどにより、前年実績を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,810百万円(前年同四半期比5.5%減)、営業利益は196百万円(前年同四半期比67.2%減)、経常利益は227百万円(前年同四半期比64.2%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益におきましては118百万円(前年同四半期比68.4%減)の計上となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(靴小売事業)

靴小売事業では、マーケットやライフスタイルの変化に対応した店舗開発を推進し、また多様化する顧客ニーズに対応すべく顧客との接点強化施策を展開し、店舗運営を通してのブランド価値の向上と売上の拡大に努めました。

業態別では、「リーガルシューズ店」、「シェットランドフォックス店」および「アウトレット店」が堅調に推移いたしました。

商品・アイテム別では、紳士靴は付加価値の高いビジネスシューズを中心に好調に推移いたしました。婦人靴全般およびカジュアルシューズにつきましては、スニーカーなどスポーツトレンドが強いことなどにより、パンプスやサンダル等のエレガンス系やトラッドテイストのカジュアルシューズの動向が鈍く、苦戦いたしました。また、アウトレット業態において、在庫水準の適正化を目的とした季節商材等の滞留在庫品の削減施策を実施したため、値引き販売が増加し売上総利益率が低下いたしました。

新たな取り組みといたしましては、WEB環境を活用した顧客接点強化施策として、既存顧客の利便性向上、新規顧客の獲得ならびにWEBから実店舗への送客等を目的とした「リーガルシューズWEBショップ」の運用を本年4月から開始いたしました。

当第1四半期連結累計期間の店舗展開につきましては、マスマーケットへ向けた新業態の1号店である「ケンフォード堂島地下街店」(大阪府)など計2店舗を新規に出店し、1店舗を改装いたしました。(直営小売店の店舗数137店舗、前年同四半期末比1店舗減)

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,760百万円(前年同四半期比0.6%増)、営業損失は4百万円(前年同四半期営業利益124百万円)となりました。

(靴卸売事業)

靴卸売事業では、多様化する顧客ニーズに対応すべく、上質感や機能性を重視した商品開発に注力する一方で、消費の二極化傾向や地域格差など市場動向の変化に合わせた商品提案を行うなど、エリアやチャネルの特性に合った営業活動を推進いたしました。

紳士のビジネスシューズにつきましては、消費の二極化傾向が進むなか、主力の「リーガル」を中心に、品質にこだわった上級ブランドである「シェットランドフォックス」やマスマーケットへ向けたオリジナルブランドの「ケンフォード」が品質や機能、耐久性等が顧客の支持を受け、好調に推移いたしました。反面、婦人靴全般およびカジュアルシューズにつきましては、対象顧客の節約志向や依然として強いスポーツトレンドに十分な対応が出来なかったこと、および婦人靴市場全般の不振等により苦戦し、全体では売上高、営業利益ともに前年実績を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,036百万円（前年同四半期比10.7%減）、営業利益は183百万円（前年同四半期比59.1%減）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない不動産賃貸料の収入など、その他事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は49百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益は12百万円（前年同四半期比19.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、29,506百万円となり、前連結会計年度末に比べ541百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加1,397百万円、受取手形及び売掛金の減少1,992百万円などによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、15,038百万円となり、前連結会計年度末に比べ242百万円減少いたしました。これは主に、賞与引当金の増加250百万円があったものの、支払手形及び買掛金の減少360百万円、未払法人税等の減少122百万円などによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、14,468百万円となり、前連結会計年度末に比べ299百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少102百万円、その他有価証券評価差額金の減少150百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月13日付決算短信で発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を前連結会計年度末に係る連結財務諸表から適用したことに伴い、当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表の比較情報について回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを前第1四半期連結累計期間の期首に遡って適用しております。

なお、前連結会計年度の四半期報告書における第1四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に関する事項と、当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書における比較情報との間に相違はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,916	5,314
受取手形及び売掛金	6,296	4,304
電子記録債権	240	289
商品及び製品	7,207	7,512
仕掛品	276	287
原材料及び貯蔵品	614	634
その他	1,634	1,469
貸倒引当金	△299	△299
流動資産合計	19,886	19,512
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,262	2,262
その他(純額)	2,582	2,547
有形固定資産合計	4,845	4,810
無形固定資産		
のれん	56	53
電話加入権	25	25
その他	47	76
無形固定資産合計	129	155
投資その他の資産		
投資有価証券	2,923	2,704
敷金及び保証金	1,243	1,211
その他	1,152	1,245
貸倒引当金	△132	△132
投資その他の資産合計	5,187	5,028
固定資産合計	10,162	9,993
資産合計	30,048	29,506

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,099	3,739
短期借入金	4,140	4,366
未払法人税等	324	202
賞与引当金	500	750
役員賞与引当金	36	9
ポイント引当金	498	498
店舗閉鎖損失引当金	20	7
その他	1,876	1,755
流動負債合計	11,495	11,328
固定負債		
長期借入金	380	350
退職給付に係る負債	2,252	2,245
資産除去債務	201	203
その他	950	910
固定負債合計	3,785	3,709
負債合計	15,280	15,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,355	5,355
資本剰余金	740	740
利益剰余金	7,065	6,962
自己株式	△196	△196
株主資本合計	12,964	12,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,164	1,013
繰延ヘッジ損益	△1	△5
土地再評価差額金	473	473
為替換算調整勘定	116	71
退職給付に係る調整累計額	△97	△84
その他の包括利益累計額合計	1,655	1,468
新株予約権	63	63
非支配株主持分	84	74
純資産合計	14,767	14,468
負債純資産合計	30,048	29,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	8,268	7,810
売上原価	4,249	4,109
売上総利益	4,018	3,700
販売費及び一般管理費	3,418	3,503
営業利益	599	196
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	38	39
雑収入	15	19
営業外収益合計	59	62
営業外費用		
支払利息	9	7
持分法による投資損失	1	0
売上割引	11	10
為替差損	-	13
雑支出	0	0
営業外費用合計	22	31
経常利益	636	227
特別利益		
固定資産売却益	-	1
特別利益合計	-	1
特別損失		
固定資産除却損	9	4
特別損失合計	9	4
税金等調整前四半期純利益	627	224
法人税、住民税及び事業税	270	201
法人税等調整額	△21	△90
法人税等合計	249	111
四半期純利益	377	113
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	375	118

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	377	113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	127	△150
繰延ヘッジ損益	6	△4
為替換算調整勘定	9	△49
退職給付に係る調整額	△23	13
その他の包括利益合計	120	△190
四半期包括利益	498	△77
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	495	△68
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	靴小売事業	靴卸売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,738	4,518	8,256	11	8,268	—	8,268
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	37	37	△37	—
計	3,738	4,518	8,256	48	8,305	△37	8,268
セグメント利益	124	449	574	10	584	15	599

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	靴小売事業	靴卸売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,760	4,036	7,796	13	7,810	—	7,810
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	35	35	△35	—
計	3,760	4,036	7,796	49	7,846	△35	7,810
セグメント利益又は損失(△)	△4	183	179	12	191	5	196

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。